

郷里「山梨」への想い

おざわ まさひと
小澤 雅仁

日本郵政グループ労働組合・政治部長

私の自宅は、山梨県甲府市にある。東京との距離は以外と近いが、通勤できる距離ではない。ＪＰ労組発足時に単身赴任となったが、通算で10年を越える単身生活は、自然と山梨のことを強く意識する。今回、本誌に寄稿する機会を得たことから、山梨県の良さを知っていただき、身近な観光地として大勢の皆さんに来県していただきたい。

山梨は県土の約78%を森林が占め、清らかな水が豊富である。ミネラルウォーターの生産量は日本一であり、この豊富で美しい水が、フルーツやワインなどの特産品を育てている。甲府市を中心とした盆地特有の気候であり、夏は暑く冬は寒い。四季がはっきりしているところが好きだが、水はけの良い土地は果物の栽培に適しており、6月のサクランボ、8月中旬までの桃、秋の葡萄など、狩りや数多くのワイナリーでワインの試飲も楽しめる。景勝地もたくさんある。4月には、濃いピンク色の桃の花、雪景色の南アルプス、黄色の菜の花のコントラストは、まさに「桃源郷」であり、十分な見応えがある。富士山麓に点在する富士五湖も四季折々の美しい景観で魅了してくれる。八ヶ岳は避暑地としても最適だ。清泉寮のソフトクリームは本当に美味しい。紅葉が美しいのは、北岳などの登山口となる広河原へ通ずる県営林道南アルプス線、奇岩と美しい渓谷で有名な御嶽昇仙峡、七ツ釜五段ノ滝へと続くトレッキングコースがある西沢渓谷など、素晴らしい紅葉に巡り会える。

忘れてはいけないのが県内各地の温泉である。山間にある鄙びた温泉宿から有名な石和温泉など、市営・公営の温泉施設も数多くある。銭湯に入れる程度の料金で一日中温泉が楽しめる施設もあり、私がお薦めするのは市川三郷町にある「みたまの湯」だ。標高の高いところにあるこの温泉は泉質も眺望も素晴らしい。甲府盆地を眼下に、南アルプスや八ヶ岳が一望できる露天風呂は、長風呂に適した温度で、体も心も癒されることは間違いない。宿泊施設はないが、食事処、休憩コーナー、ボディケアコートが完備されているので一日中のんびりすることができる。このような観光地や温泉に、ウィスキー工場やワイナリーの見学、酒蔵の試飲などを組み合わせれば、日帰りでも十分に楽しめる旅行になることは間違いない。

最後に紹介したいのが「甲府鳥もつ煮」。昨年9月に行われた「第5回B-1グランプリin厚木」において、ゴールドグランプリを獲得して一躍有名になった。鳥もつ煮は、鳥のもつを甘辛く煮た山梨の名物であり、酒のつまみには最高の一品である。ぜひ山梨にお越しの折には、「ほうとう」「鮑の煮貝」など、山梨独自の食文化をご賞味いただきたい。

美味しい空気に、美味しい水。「山紫水明」の山梨を愛する自称「山梨県観光大使」として、地場産業の雇用拡大と持続的発展、「暮らしやすさ日本一」に向けて、微力ながら山梨の素晴らしさを今後も積極的にPRしていきたい。